

SAFETY DATA SHEET

会 社 株式会社 印南
住 所 〒457-0821 名古屋市南区弥次工町4-5
電話番号 052-611-5457 FAX番号 052-612-1070

2025年7月1日 更新

製品名 HIペントナイ|250G

1 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

：火薬類	分類対象外
：可燃性・引火性ガス	分類対象外
：可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
：可燃性・酸化性ガス類	分類対象外
：高圧ガス	分類対象外
：引火性液体	分類対象外
：引火性固体	分類対象外
：自然発火性液体	分類対象外
：自然発火性固体	分類対象外
：水反応可燃性化学品	区分外
：酸化性液体	区分外
：酸化性固体	分類対象外
：有機過酸化物	分類対象外
：自己発熱性化学品	分類対象外
：金属腐食性物質	分類できない
：急性毒性(経口)	区分外
：急性毒性(経皮)	区分外
：急性毒性(吸入: 気体)	区分外
：急性毒性(吸入: 蒸気)	区分外
：急性毒性(吸入: 粉塵及びミスト)	区分外
：皮膚腐食性/刺激性	分類できない
：眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	分類できない
：呼吸器感作性	分類できない
：皮膚感作性	分類できない
：生殖細胞変異原性	分類できない
：発がん性	区分1A
：生殖毒性	分類できない
：特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露)	区分1(呼吸器系)
：特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露)	区分1(呼吸器系、腎臓、不特定)
：吸引性呼吸器有害性	分類できない
：水生環境急性有害性	区分外
：水生環境慢性有害性	区分外
：オゾン層への有害性	分類できない

健康に対する有害性

環境に対する有害性

上記記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素:

絵表示



注意喚起語

危険有害性情報

- ：危険
- ：H350: 発がんのおそれ
- ：H370: 脳器(呼吸器系)の障害

：H372：長期にわたる、又は反復暴露により臓器(呼吸器系、腎臓、不特定)の障害。

注意書き：

【予防策】

：P202：すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

：P260：粉塵を吸入しないこと。

：P264：取扱い後よく洗うこと。

：P270：この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

：P280：保護手袋を着用すること。

：P281：指定された個人用保護具を使用すること。

：P302+P352：皮膚についた場合：多量の水と石鹼で洗うこと。

：P332+P313：皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受ける。

：P362：汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

：P308+P313：暴露又は暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当てをうけること。

：P307+P311：暴露した場合：医師に連絡すること。

：P314：気分が悪い時は、医師の診断/手当てをうけること。

：施錠して保管すること。

：P501：内容物/容器を、国際/国/都道府県/市町村の規則(明示する)に従って廃棄すること。

【対応】

【保管】

【廃棄】

2 組成および成分情報

单一製品・混合品の区別

：単一製品

成分

：ベントナイト

含有量(%)

：100%

化学式

：無し

官報公示整理番号

：対象外

(化審法安衛法)

CAS NO.

：1302-78-9

化学物質管理促進法

：対象外

(PRTR)政令番号

労働安全衛生法

：第57条の2第1項の通知対象物NO. 312(シリカ)

(通知)対象物政令番号

危険物有害成分情報

：ベントナイト中には結晶性シリカを10~30%程度含有しており、許容濃度以上での長期間の結晶性シリカの粉塵による暴露は、人の呼吸器系に影響を及ぼします。

3 応急措置

吸入した場合

：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休憩させること。

：気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

：多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合は洗濯すること。

目に入った場合

：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していく容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てをうけること。

飲み込んだ場合

：口をすすぐこと。意識不明者には、いかなる食べ物も提供しない。吐かせないこと。気分が悪い時は医師に連絡すること。

予想される急性症状

：急性症状：皮膚刺激。臓器(呼吸器系)の障害。

及び遅発性症状

：遅発性症状：発がんのおそれ。長期にわたる、または反復暴露により臓器(呼吸器系、腎臓、不特定)の障害。

応急措置をする者の保護

：適切な保護具(保護手袋／保護衣/保護眼鏡/保護面)を着用すること。

医師に対する特別注意事項

：具体的な症状により処理すること。

4 火災時の措置

消火器

：二酸化炭素、粉末消火器、耐アルコール性泡消火器。注水は原則禁止。

特定の危険有害性

：無し。

特定の消火方法

：初期消火には炭酸ガス、粉末消火器、泡消火器等を使用する。

ガスの供給を断つ。噴霧ノズル等で散水するなどにより周辺を冷却し延焼防止を図る。

風上から水を噴霧して容器を冷やしながら周囲の消火を行う。

消火を行う者の保護

- 周辺火災の場合には、容器を安全な場所に移動する。
関係者以外は、安全な場所に避難させる。
- ： 消火作業の際は、風上から行い必ず保護具を着用し、皮膚への接触が想定される場合は、不浸透性の保護具及び田袋を着用する。
消火作業を行う者は、空気呼吸器などの保護具を着用し酸素欠乏及び有害ガスから身を守ること。

5 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
- ： 関係者以外の立ち入りを禁止する。(7. 暴露防止及び保護措置)に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
危険でなければ漏出源を遮断し、漏出物に接触しない。
- 環境に対する注意事項
- ： 回収された廃棄物を排水溝、下水溝と河川など流水域に流入しないよう注意する。当地と関係国(の法律に従う)。
- 洗浄/収集などの除去方法
- ： 漏出物は、飛散させないように吸引式掃除機で速やかに回収する。
回収する過程中に、粉塵を生じることを避ける。
- 二次災害の防止策
- ： 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
床面に残っていると水に濡れた際滑りやすくなるので注意が必要である。
水に濡れて滑りやすくなつたときは、布・紙で綺麗に拭き取る。

6 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策
- ： (7. 暴露防止及び保護措置)に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

注意事項

- 安全取扱い注意事項
- ： すべての安全事項を読み理解するまで取り扱わないこと。
粉塵を吸いないこと。
取扱い後よく洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食、喫煙しないこと。
保護手袋を着用すること。
容器は転倒、転落等を防止する措置を講じ、粗暴な扱いをしない。

保管

適切な保管条件

- ： 涼しい所/換気の良い場所/乾燥した場所で保管すること。日光の直射を避ける。施錠して保管すること。子供が接触出来ない場所に置くこと。

混触危険物質

- ： 情報なし。

適切な技術的対策

- ： 倒壊や落下を防ぐために、あまりにも容器を積み重ねないで下さい。

容器包装材料

- ： 特別な要求なし。

7 暴露防止及び保護措置

許容濃度

成分名

- ： ベントナイト (CAS: 1302-78-9)

OSHA PEL-TWA

- ： 総粉塵15mg/m³、吸入性粉塵5mg/m³

ACGIH TLV-TWA

- ： 総粉塵10mg/m³、吸入性粉塵3mg/m³

日本産業衛生学会の許容濃度

- ： 総粉塵2mg/m³、吸入性粉塵0.5mg/m³ (日本産業衛生学会の勧告2005)

設備対策

- ： この物質を貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
暴露を防止するため、装置の密閉化又は防爆タイプの局所排気装置を設置すること。

保護具

呼吸器の保護具

- ： 許容濃度を超える場合あるいは調子が悪くなると感じる場合、検定品である防塵マスクを着用する。

手の保護具

- ： 不浸透性でありかつ丈夫な保護手袋。

眼の保護具

- ： 普通特別な要求なし。正常の取扱い条件において、特別な措置は必要がない。粉塵を生じる可能性がある場合には、保護眼鏡をかける。

皮膚及び身体の保護具

- ： 適切な保護具(不浸透性の防護手袋、防護靴)を着用すること。

衛生対策

- ： 休憩の前に、作業終了後は、手洗いを十分に行う。

- ： 加工による粉塵を吸入することを避ける。

皮膚や目への接触を避ける。

8 物理的及び化学的性質

物理的状態

形状	粉末
色	淡黄色～灰色
臭い	無臭
PH	2wt%懸濁液で9.5～10.8
融点/凝固点	1100°C以上
沸点・初留点及び沸騰範囲	該当せず
引火点	該当せず
自然発火温度	データなし
燃焼性(固体、ガス)	データなし
爆発範囲	データなし
蒸気圧	データなし
相対蒸気密度	データなし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)	データなし
密度	
真比重	2.4～2.7
嵩比重	0.50～0.75g/cm ³
溶解度	水には溶解しないが懸濁する。有機溶媒には不溶である。
オクタノール・水分配係数	データなし
揮発性有機化合物(VOC)	データなし
分解温度	データなし
粘度	データなし

9 安定性及び反応性

安定性	通常の取扱い条件においては安定である。
危険有害反応可能性	無し
避けるべき条件	日光の直射を避ける。雨水等の水濡れを防止する措置を講じて保管する。 子供が接触出来ない場所に置くこと。
避けるべき材料	情報なし
危険有害な分解生成物	なし

10 有害性情報

急性毒性

：本製品の毒性データについては精確な測定と研究データがない。
以下の毒性データは参考として下さい。

LD50/LC50 半数致死量

：ペントナイト(CAS:1302-78-9)

急性毒性(経口)LD50:5000mg/kg(ラット)(KOSHA)

製品分類:区分外

急性毒性(経皮)

：ペントナイト(CAS:1302-78-9)

急性毒性(経皮)LD50 データなし

製品分類:区分外

急性毒性(吸入)

：ペントナイト(CAS:1302-78-9)

急性毒性(吸入、粉塵)LD50 データなし

製品分類:区分外

皮膚腐食性/刺激性

：ペントナイト(CAS:1302-78-9)

製品分類:分類できない

眼損傷/刺激性

：分類できない

呼吸器感作性

：分類できない

皮膚感作性

：分類できない

生殖細胞変異原性

：分類できない

発がん性

：不純物として含有する石英について、IARC68(1997)は1[IARC68(1997)]、NTPはK[NTP RoC(11th,2005)]、産衛学会勧告は1[産衛学会勧告【2005】]に分類しており、区分1Aとした。

	クリストバライト(CAS:14464-46-1):区分1A(ACGIH-A2,IARC-1,NTP-1,CP-65) 製品分類:区分1A
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性(単回)	: 反復暴露に比べるとデータが大幅に少ないが、ヒトにおいて短期暴露でも吸入濃度が高い場合は呼吸器系に影響を及ぼすとの記述。 (SITTIG(4th,2002)),(IARC68(1997)),(DHP(13th,2002))がある。 (IARC68(1997))はPriority1文書であるため、区分1(呼吸器系)とした。 呼吸器系の障害。(シリカの情報を記載)
	製品分類:区分1
特定標的臓器毒性(反復)	: Priority1文書に、ヒトにおいて呼吸器系、腎臓に影響得お及ぼすとの記述があり(IARC68(1997)),(CICAD24(2000)),(ACGIH-TLV("%)),区分1(呼吸器系、腎臓)とした。 長期又は反復暴露による呼吸器系、腎臓障害。(シリカの情報を記載) クリストバライト(CAS:14464-46-1):区分1(不特定)(ECHA C & L Inventory)
	製品分類:区分1
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない。

11 環境影響情報

移動性	: 情報なし
残留性/分解性	: 情報なし
生体蓄積性	: 情報なし
生態毒性	: ベントナイト(CAS:1302-78-9) 魚類(ファットヘッドミノー)LC50:8000~19000mg/l 96hr(IUCLID) 甲殻類(オオミジンコ)LC50:15.028mg/l 48hr(ECOSAR) 鳥類EC50:22.391mg/l 96hr(ECOSAR)

12 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 認定を受けている産業廃棄物処理業者に委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。
汚染容器及び包装	: 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

13 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報/航空規制情報

UN NO.	: 非該当
Proper Shipping Name	: 非該当
Class	: 非該当
Packing Group	: 非該当
Marine Pollutant	: 非該当
Pictogram	: 非該当

国内規制

国連分類	: 非該当
国連番号	: 非該当
品名	: 非該当
容器等級	: 非該当
陸上輸送 消防法	: 非該当
海上輸送 船舶安全法	: 船舶安全法に定めるところに従う。
航空輸送 航空法	: 航空法にさだめるところ及び、ICAOの規定に従う。

緊急時応急措置指針番号	: 非該当
特別の安全対策	: 輸送前に包装に破損が無いか、良く密封できているかを検査する。 輸送過程において、包装に破損が無く、貨物が落ちないように確保する。 ;消防用と漏出処理用の関連設備を配備する;混触危険物質との共同輸送を禁止する。

14 適用法令

消防法	: データなし。
労働安全衛生法	
名称等を通知すべき危険物	: ベントナイト(CAS:1302-78-9)
及び有害物	: 第57条の2第1項の通知対象物 NO. 312(シリカ)
毒劇物取締法	: データなし。
化学物質排出把握管理	: 特定第一種化学物質:この製品に特定第一種化学物質が含まれません。 第一種指定化学物質:この製品に第一種指定化学物質が含まれません。 第二種指定化学物質:この製品に第二種指定化学物質が含まれません。
促進法(PRTR法)	
水質汚濁防止法	: データなし。
下水道法	: データなし。
大気汚染防止法	: データなし。
海洋汚染防止法	: 環境への放出を避けること。
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	: 産業廃棄物規制(拡散、流出の禁止)
じん肺法	: 結晶性シリカ:第2条施工規則第2条別表粉塵作業。
国際法規	
リスクフレーズ及びセーフ	: データなし。
ティフレーズ(67/548/eeac付録 I)	
米国有害物質規制法 (TSCA在庫品目)	: すべての成分は該当物質リストに入っている。
米国大気浄化法	: 当製品はクラス I のオゾン層破壊物質を一切含んでいません。
発がん性関連法令	: 当製品はクラス II のオゾン層破壊物質を一切含んでいません。 : 結晶質シリカ/石英(CAS:14808-60-7):NITE-CHRP、ACGIH-A2、IARC-1、NTP-1、CP65 : 結晶質シリカ/クリストバライト(CAS:14464-46-1):NITE-CHRP、ACGIH-A2、IARC-1、NTP-1、CP65

15 その他の情報

引用文献

- 1 国連GHS文書改訂第9版
- 2 JIS Z 7252-2019
- 3 JIS Z 7253-2019
- 4 労働安全衛生法
- 5 毒物及び劇物取締法
- 6 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律
- 7 消防法
- 8 化学物質管理促進法(PRTR)

責任免除の説明

以上の情報は参考するものとして、その信憑性が保証できます。当社はユーザーの使用方法及びその結果について何の責任を負いません。ユーザー自身に該当製品の正しい使用方法、またはある目的による生産方法を決定していただきます。上記の注意事項を守れば製品の操作及び使用時に発生するおそれのある財産と人身安全への危害を回避できます。